



## 「令和2年度全国いじめ問題子供サミット」が開催されました！

令和3年1月23日（土）に、「令和2年度全国いじめ問題子供サミット」がオンラインで開催されました。

宮崎県からは、都城市立西中学校の生徒会役員に、県代表として参加してもらいました。本来であれば、令和2年8月に「宮崎県いじめ問題子供サミット」を開催し、「いじめの未然防止に関する取組推進校」の実践発表に基づく審査結果により代表校を決定するところでしたが、残念ながらコロナ禍のため中止となりましたので、実践報告書による紙面審査で決定したところです。



全国サミットには、47の自治体（都道府県・政令指定都市）から、71校、小学生23名、中学生171名、計194名の参加がありました。オンラインのため、3グループに分かれて取組の紹介やテーマをもとに意見交換を行う形式となりました。

都城市立西中学校は、生徒が主体となったいじめの未然防止の取組として「悩み相談推進委員（生徒会役員）」の活動について発表しました。この活動は、「生徒会役員がスクールカウンセラーから相談を受けるための心構えを学び、悩み相談を想定したロールプレイを繰り返し行った上で、生徒同士で悩み相談を行う」というものです。

他県の生徒からの質問もあり、生徒が悩みを聞く活動に対する関心の高さが伺えました。各学校でもピアカウンセリング活動の一つとして、参考にしてみてください。

さて、県教育委員会では、令和元年度より、県内7校の中学校を「いじめの未然防止に関する取組推進校」に指定し、生徒が主体となったいじめの未然防止の取組を推進しています。

各推進校で様々な「いじめの未然防止」に取り組んでいますが、取組の一部を紹介しますので、参考にしながら、小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校と、それぞれの実態に合わせて、子どもたち自身がいじめについて考える機会の設定をお願いします。



## いじめの早期発見・早期対応、そして、未然防止の取組を・・・

先生方の取組と  
児童生徒の取組

本県は、文部科学省の「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」において、いじめの認知件数が児童生徒1,000人当たりで全国最多という結果が出ています。

この結果について、県教育委員会では、先生方が、いじめに関するアンケートや教育相談等を通して、積極的にいじめを認知していただいているものとして考えています。ここで大切なことは、認知したいじめについて、解消まで取り組む、又は見届けるということです。

そこで、県教育委員会では、令和2年9月に、「いじめの認知から解消までのガイドライン」を作成しました。研修等で活用していただくことで、改めて、「いじめは、どの子どもにも、どの学校にも起こり得る」という意識のもと、いじめの積極的な認知とともに、いじめの早期発見・早期対応に取り組み、確実な解消に向けて組織的な取組をお願いします。



各学校では、いじめ防止基本方針に則り、各種取組を実践していただいていると思いますが、児童生徒自身が、「いじめをしない」「いじめをさせない」「いじめを許さない」などの意識を高め、いじめの未然防止に取り組むことも大切なことだと考えます。

県教育委員会としては、今後、先生方がいじめの積極的な認知により早期発見・早期対応に取り組まれることと併せて、児童生徒が主体的にいじめの未然防止に取り組むことを推進していきますので、推進校の取組を参考に、各学校での取組の充実をお願いします。



## 各推進校による「生徒が主体となったいじめの未然防止の取組」を紹介します！

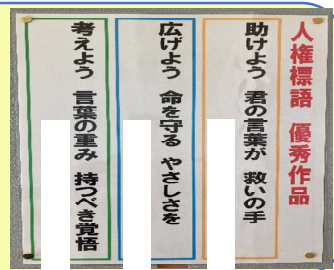
### 【宮崎市立田野中学校】

＜生徒会主催による「ピースメイト集会」の実施＞

集会において、いじめの定義やいじめによる刑罰の確認をしたり、命の大切さに関する詞の紹介や読み聞かせを行ったりした。田野中「いじめ撲滅宣言」も群読。

＜人権標語の作成＞

全校生徒に人権標語を作成してもらい、学年ごとに優秀賞を決定。優秀作品は掲示。



### 【川南町立唐瀬原中学校】

＜「思いやりの木」活動＞

思いやり週間を利用し、思いやりのある行動を推奨するために、各学級に「思いやりの木」を設置。思いやりのある言動を見たり、聞いたりしたら、葉っぱの形をした画用紙に書いて貼る活動を行い、生徒会が、上位3クラスを表彰。「思いやりの木」を实らせることで、周りの仲間の良いところ目をつける機会となった。



### 【都城市立西中学校】

＜「悩み相談推進委員(生徒会役員)」による相談活動＞

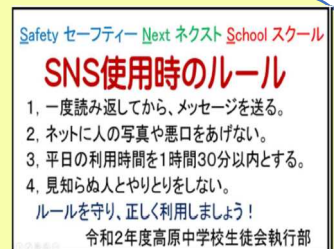
スクールカウンセラーから相談を受けるための心構えを定期的に学び(計6回)、悩み相談を想定したロールプレイを繰り返した上で、年間をとおして、生徒が悩みを聞く活動を実施。相談アンケートも生徒自身で作成し、生徒が主体となって相談できる環境づくりを進めた。ピアカウンセリング活動をとおして生徒が主体的に活動した。



### 【高原町立高原中学校】

＜SNS利用時の学級・学校全体のルールづくり＞

生徒総会で各学級から出された問題点の話合いにより、SNS利用のルールづくりをすることに決定。「セーフティ・ネクスト・スクール～SNSでいじめをやめねっと～」スローガンのもとルールを決定し、ルールが守られているか確認しながら取組を進めた。また、スローガンのステッカーシールを作成し、家庭で使用しているスマホに貼るなど、家庭とも連携した。



### 【延岡市立北川中学校】

＜人権カルタの札作成及び人権カルタ大会の開催＞

全校生徒で「あ行～わ行」の人権標語を作成し、コンクールを実施。決定した「読み句」を使用して全校生徒でカルタを作成した。完成したカルタを使って、生徒会企画「人権カルタ大会」を実施。準備から運営まで、生徒会が中心となり実施することで、主体的に人権に対する意識を高めた。



### 【門川町立門川中学校】

＜お年寄りへのメッセージカード作成と施設への贈呈＞

敬老の日を機に、全校生徒で町内の社会福祉施設に入所されている高齢者へ感謝の気持ちを記したメッセージカードを作成。町内3か所の施設を訪問し手渡した。今年度のスローガン「地域に貢献する」のもと、地域の方とふれあう活動をとおして、お年寄りへの思いやりの気持ちを醸成した。



### 【宮崎西高等学校附属中学校】

＜生徒総会における提案型パブリックディベート＞

「よりよい西附生の在り方」をテーマに、学校をよくするための取組を考え、3年生2クラスの代表が提案型パブリックディベートを実施。「下校時一礼」「Good morning でぐっどもうにんぐ」の2つの提案によりあいさつの重要性を伝える中で、「Good morning でぐっどもうにんぐ」が勝ち、提案に基づき、よりよい学校づくりに取り組んだ。

